

これに先立ち、十一時駅前
ターミナルに貸切バスを用意
し、来賓及び参加者に乗って
いただきて、新築の理容会館
に案内し、折り返し会場まで
お送り致し、十一時四十分よ
り式典にはいりました。

理事長挨拶
祝謡（鶴亀・四海波）
幹杯 敬謡会 武田正洋
理容まつり抽せん会
万才三唱

例年の組合役員新年宴会併せ
て第二回理容まつりの抽せん
会を本年一月十二日ダイエー
七階大ホールにおいて百五十
名の参加者によりにぎにぎし
く開催されました。

開会の辞	司会 武田正洋
挨拶	細谷副理事長
感謝状授与	富樫 理事長
受賞者の謝辞	
来賓祝辞	
閉会の辞	

山形県理容会館竣工記念式典
盛大に開催

盛大に開催

形山容理

一發行所
山形県理容
環境衛生同業組合
山形市相生町8/51
郵便番号990
電話22-0217番代
振替貯金口座 山形1366
発行者 富樫富太郎
編集者 保坂菊治

るお礼の言葉等を述べて挨拶を終りました。

支部の情野貞吉氏、山形支部の故吉岡政之助氏、上山支部の鈴木勇氏、酒田支部の志田豊太氏及び藤島支部の故丸山武氏へ感謝状及び記念品、さらには元支部長二十六名の方

先ず、七階会場入口には、右側に東北タカラベルモント、左側には有海理美容店寄贈の見事な盛り花が陳列され、左手には来賓、表彰者及び組合員の三つの受け付けがあり、会場にはいると、十六のテーブルが並び、演壇の左右には協和ハウス、環衛物産・リツカー通販の盛り花が並べられ正面の壁面には左右に国旗、組合旗を掲げ又、演壇の上部には、「山形県理容会館竣工記念式典祝賀会・理容まつり抽せん会」の横一文字を掲額してあり、参会者を待つ準備が完了致しました。

組合旗を掲げ又、演壇の上部には、「山形県理容会館竣工記念式典祝賀会・理容まつり抽せん会」の横一文字を掲額してあり、参会者を待つ準備が完了致しました。

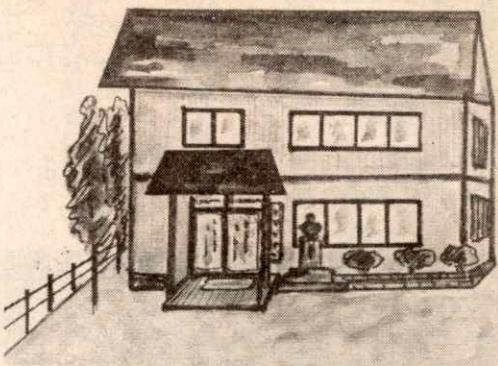
御協力下さった家主の有海理美器具店社長の有海清氏、相生町の旧事務所前にあった初代理事長青柳重助氏の胸像を無料奉仕で土台と共に新築の理容会館の前に運搬の上設置して下さった米沢市の荒神重機社長荒井孝義氏、さらに戦後の山形県の理業業界をまとめて、今日の業界の基礎造りをされた初代理事長の青柳重助

氏、その後を受けて業界の安定をもたらした二代目理事長(故)佐藤平造氏、三代目で前理事長の嵐田鶴男氏、元役員で県外にありながら、何くれとなく組合に協力下さった小松与一氏以上七名の方々に富櫻理事長より感謝状及び記念品の贈呈があり、次に、元理容会館建設調査委員として、種々の記録、貴重な資料等を残して下さった六人の方々即ち長井支部の勝見文雄氏、米沢

これらの方々を紹介致しますと
左記の通り

元南陽支部長	元楯岡支部長	元川西支部長	元寒河江支部長	元最上支部長
伊藤栄太郎	赤木重雄	武田不二雄	武田悌一郎	海野重雄
西山三上	松田相座	五十嵐庄一郎	佐藤富士	井上忠次郎
武雄	市郎	正己繁	正己	博

山形県理容会館



この組合の歩み

昭和5年7月

山形県理髪師組合連合会結成、初代会長に当時の衛生課長武田信一氏就任。

昭和5年7月

山形県理髪師組合連合会結成、初代会長に当時の衛生課長武田信一氏就任。

昭和5年7月

山形県理髪師組合連合会結成、初代会長に当時の衛生課長武田信一氏就任。

昭和5年7月

山形県理髪師組合連合会結成、初代会長に当時の衛生課長武田信一氏就任。

昭和5年7月

山形県職業訓練所内に理容科設置する(定員30名)

昭和5年7月

山形県職業訓練所内に理容科設置する(定員30名)

昭和29年7月

山形高等理容学校昼間五十名・通信課五十名・厚生大臣指定校となり初代校長青柳重助氏なる。

昭和32年11月

山形市に理容環境衛生同業組合連合会に加盟す。

昭和32年11月

山形市に理容環境衛生同業組合連合会に就任す。

昭和39年3月

山形市に理容会館建設用地を買収する。

昭和42年6月

山形県理容会館建設計画総代会提案。

昭和29年7月

山形高等理容学校昼間五十名・通信課五十名・厚生大臣指定校となり初代校長青柳重助氏なる。

昭和32年11月

山形市に理容環境衛生同業組合連合会に就任す。

昭和39年3月

山形市に理容会館建設用地を買収する。

地鎮祭55.9.8 全室冷暖房完備

上棟式55.9.24 一階事務室、来賓室、和室(8帖二間)

移転祭55.12.8

竣工式典56.1.12 二階大ホール、技術室

設計、監督 斎藤建築設計事務所

主体工事 協和ハウス 押井一
ツルオカ市本町3-8-21

昭和43年6月 青柳重助氏同組合顧問となる。
佐藤平造氏二代目理事長として就任す。

昭和43年10月 山形県環境衛生同業組合環境会館建設をめざして出發する。

昭和45年5月 嵐田鶴男氏三代目理事長として就任す。

昭和46年10月 第二十四回全国理容競技大会山形市で開催。

昭和54年5月 富権富太郎氏が第四代目理事長として就任す。

昭和55年6月 山形県環境会館建設ならず。

昭和55年8月 山形県理容会館建設理事会決定委員会設置。

昭和55年9月 山形県理容会館建設、協和ハウス社に依頼。

昭和55年12月 山形県理容会館完工移転祭事行う。

昭和56年1月 山形県理容会館竣工式典並創立五十周年記念式典現在に至る。

立昭和56年1月 山形県理容会館竣工式典並創立五十周年記念式典現在に至る。

「来年は、婦人部の事業として社交ダンスをとりあげてくれない?」と私に申し込まれたのは、一昨年の十二月のことでした。着付け、民謡踊りなど比較的に生活に密着した内容をとりあげ好評を得てきた婦人部の事業も、社交ダンスは異色であり、果して全会員に喜こばれるか自信がありませんでした。ましてや、中高年層の多い婦人部の事業として、「そうね」とはすぐに返事も返せなく、その年度も終わりに近づいて、来年度の事業を考える時期になつていました。恥かしいことに、私にとっても社交ダンスは初めてであり、どんなものやら見当つかず、今更五十代にしてダンスでもあるまいと消極的でした。ところが、いざ事業をと考えても特別に見当らず、いいアイデアが生まれません。「よし何でも挑戦!」いつもの私の好奇心が頭をもたげ、やつて見ようか、と各地区の婦人部役員

に話しかけましたら、「きっと受けるよ」ということで、初の試みに踏みきることになりました。幸い私には、様々な手助けをしてくれる友人、知人が多いのが唯一の財産です。早速、社交ダンスを教えてくれたので、構想ねりましたので相談したところ快諾してくれたので、構想ねりに入りました。

さて、それにしても、社交ダンスとはどんなものか、会員に話しするにしても、自分が解っていないことにはどうしても力強く説得することができません。それで四月、五月に私は、知人夫妻五組に呼びかけ、まずは私の家でどんなり練習実験に入りました。

講師の井上さんの指導のもとにレッスン開始、ブルース、ルンバ、と進むにつれステップを覚えるのに必死、五十年のロートルカッブル組はフウ、ジルバ、チャチャになるともういけません。これ

は若い者だけヤレッといつてそばで見ていて手をたたきはやすだけです。会員の皆さんに説得させる手前、私は真剣にならざるをえません。”ダンスは楽しく、などの先生の言葉も上の空、昼、誰れもいなくなつた部屋でステップ踏んで、鈍くなつた我が体を動かします。

いよいよ七月から練習が始まりました。当初の予定より会員券も売れ、六十名程集まつてきました。ところが、ここに思わぬ算段の狂いが生じてきています。男性が少ないのです。男性十名に対して女性は五十名、これでは、カップルでじっくり練習することはできません。當時十名の男性は、パートナーをかけて踊りまくらなければならぬのです。ステップが充分身につかないままに、‘次！交替’の号令をかけなければなりません。もちろん、私など、少ない男性を占有することもできなく、年中号令係兼、タイム係をするはめになり、練習どころではなくなつたのです。高梨さんは大モテ、休む闇



一方、女性は益々ハリキリ、今回こそ軽やかなステップを踏もうと練習してくるわ、常時五六十人を抱えての練習会を続けることができました。

十二月十五日、寒江平安閣でのパーティの開幕です。あいにくの大雪にもめげず、百名近くの人々が集まつてくださいました。

その日は組合外のパートナーの協力もあり晴やかな顔で会は始まりました。合計七回の練習で自信を得たのか、堂に入つた踊りが展開します。ステップを氣

もなく遂に最後まで一回の欠席もありません。“二十も若返つた気分だ”と大ハッスル。本当に協力してもらいました。

その反対に、これじゃ身が持たないよ。といって貴重な男性の中から落伍していくつたのは、ガッカリしてしまいました。

にして下をむいている人など誰れもいません。軽やかな踊りがフロアでいっぽい優雅にひろがります。大成功でした。老若を問わず、喜々として踊つた姿は、まさに充実した一年の歩みを表わしているようでした。

私は心の中で、いつかTV

で歌っていた、‘翔んで翔んで翔んで……まわってまわってまわって……’を思い出しました。そして来る年も、とり年にふさわしく、この親睦と会員の和を一層発展させたいなあと考えていました。

寒江支部婦人部長
山泉千代江

二月の行事

二日（月）

・第七回理事会

・専修講習(10)ニューファッションB

(ロングヘアーカット)

五十嵐フミ（上山）

六日（金）

・全理連第七回理事会

九日（月）

・大学科講習(9)フォーマルヘア・

テクニーア

永田講師

十二日（木）
九日（月）

・融資審査会
・第二回組織部長会

・専修講習会

トータルアイアニアリング（基本）

佐藤信男（川西）

